

令和8年2月2日

保護者の皆さん

枚方市立五常小学校
校長 榊 正文

令和7年度学校アンケート(12月学校教育自己診断)の結果について

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度の学校アンケートのうち、皆さまからいただきました「自由記述」についてご報告いたします。今年も学校運営についてのべ117件もの貴重なご意見をいただきました。本稿では同趣旨のご意見はまとめたり要約したりしていますが、すべてのご意見を全職員で共有し、今後の参考とさせていただきます。

また、皆さまからの感謝やお褒めのお言葉を多数いただきました。このような心温まるお言葉で教職員のモチベーションは上がります。衷心より感謝申し上げます。

なお、これ以前の学校教育自己診断の結果についてはこちらをご覧ください。

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000047363.html>

●タブレット使用した学習・ルールについて

○タブレット端末等の ICT 機器を利用した授業を取り入れていく事はこれからの中も達にとては非常に重要な事だ。

提出物は、タブレットに直接入力ではなく、紙に文字や絵を書き撮影し提出する方が書く練習になる。

●回答)学力向上部及び情報視聴覚部より→貴重なご意見ありがとうございます。本校でも、低学年における「自らの手で書く」学習は、思考力や表現力の土台となる非常に重要なプロセスだと考えております。そのため、すべての活動をデジタル化するのではなく、学年や学習目的に応じて、紙への記述とタブレット入力を最適に使い分けて指導いたします。アナログとデジタルの良さをバランスよく取り入れ、お子様の確かな学びを支えてまいります。

○自宅で学習以外に触るので利用制限をかけてほしい。親が不在のため止めることができず、自制できるところまで成長していない。

家庭での ICT 機器との向き合い方も重要だ。算数の宿題がタブレットで出されると、こっそりと電卓アプリを使って答えている。アプリの宿題だと子どもが何をしているのか分からないので紙で出してほしい。

●回答) 学力向上部及び情報視聴覚部より→ご家庭での端末利用へのご不安、お察しいたします。利用制限については、保護者によるスクリーンタイム設定等の活用をお願いしております。宿題におきましては、答えのみならず「考え方」を問うなど、学習の質を保つ工夫を検討するとともに、学校でも ICT との適切な向き合い方や、課題に取り組む姿勢を継続して指導してまいります。今後とも学校と家庭で連携し、お子様の自律を支えていければ幸いです。※スクリーンタイムについては→下記リンク【配布文書】をご覧ください。
<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/2710042/download/document/1560865?tm=20250207092352>

○特に低学年ではその場の状況に応じた思考や行動が身についていないと、授業中機器の操作で注意が散漫になりやすい。

●回答) 学力向上部及び情報視聴覚部より→授業中の集中力に関するご懸念、お察しいたします。本校では教科を問わず、授業の時間内で「今は画面を見る時」「今は鉛筆で書く時」「今は顔を上げて話を聞く時」といった指導を繰り返し、活動の切り替えを指導しております。使用しない場面では端末を閉じる、机の中にしまうなど、お子様が授業に向き合えるよう、きめ細かく指導してまいります。

●日常の授業について

○グループワークや自分の意見をまとめて発表する機会はとても大切なので、どの授業でもあると良い。課題をできた子から分からない子へと教える学習は本人にとっても自信へと繋がるので今後も続けてほしい。

担任の方針に個人的にすごく満足している。

理科の授業が面白い！と家で子どもが頻繁に話す。理科の授業が面白いから先生になりたいと初めて言っていた。参観の機会があればぜひ見てみたい。

●回答) 管理職より→激励のお言葉誠にありがとうございます。とても励みになります。発表や協働学習は、多様な考えに触れ、学びを深めるための重要な形態と捉えております。教える子は真の理解に近づき、教わる子は理解する喜びにつながる、双方とも非常にメリットの多い学習法と考えています。理科など専科の授業については、来年度のフリー参観でぜひご覧ください。

○わからないことをわかっている友だちに聞くのは、先生の負担を減らすという目的ならば

賛成できない。

主体的な学びを目的としたグループ学習で、年度当初は基本的なことを理解できないまま算数の宿題がわからず泣くことが度々あった。担任の先生に相談しそのようなことがなくなり、今は楽しく学べている。

個別の学びでは、理解していないことを本人が気づかないまま通り過ぎてしまわないよう、全体での学びもしっかりやる等、理解度を確認しながら進めてほしい。

グループワークは一定の子たちが仕切ってしまう。学力を向上させる授業がもっと必要だ。それぞれの個性があっても良いと教えてほしい

●回答) 学力向上部より→貴重なご意見ありがとうございます。協働学習は、負担軽減ではなく、多様な考えに触れ、学びを深めるための重要な形態と捉えております。本校では、事前準備をしっかりと行い、授業中の机間指導やチェックテストによる個々の理解度確認も強化しております。また、3年生以上では、国語の授業を中心に司会の役割について学び、主体的な話し合いをめざします。学習アンケートにおいても「先生に質問しやすい」との声が増えており、今後も一人ひとりの個性を尊重しながら、確かな学力を育む指導に努めてまいります。

○講師の先生や初任の先生には、普段から他の先生がアドバイスしてほしい。

四年生の個別最適化のフォーマットなどが分かりやすかったので、低学年用に作り替えて使って欲しい。ロイロノートの活用法などをどんどん共有したらよい

●回答) 学力向上部より→貴重なご意見ありがとうございます。若手教員や講師に対しては、学年や管理職が日常的に助言を行い、組織として授業の質向上に努めております。ICT活用につきましても、全国の先進校事例や最新の活用法を校内・市内で積極的に共有し、低学年の発達段階に合わせた形へ柔軟に取り入れていく方針です。今後も枚方市全体で推進するICT教育の強みを活かし、学校全体で指導力の底上げを図ってまいります。

●基礎の定着について

○子どもの苦手な単元をしっかりとケアしてもらい、そのありがたみを感じた。そういう指導が子どもの勉強への自己肯定感につながる。

一年生、二年生くらいまでは毎日計算カードを宿題にした方が定着すると思う。低学年のうちは基礎練習を繰り返す方が基礎学力向上につながる。

●回答) 学力向上部より→貴重なご意見をありがとうございます。基礎学力向上について、

1年生においては、計算学習の開始後、毎日計算カードを宿題とし、定着を図っております。2年生以上につきましても、基礎計算力向上を見据え、朝のオビタイム（朝学習）の時間に、日々継続的に百ます計算に取り組んでおります。今後も「できた」という自信を自己有能感につなげられるよう、きめ細かな指導に努めてまいります。

○普段宿題が少なく、特に長期休暇の時は気になる。各先生によって量や教材（配布物）が違うので、共通の宿題を出して欲しい。クラスごとで学力差が出ないよう工夫して欲しい。

●回答)学力向上部より→貴重なご意見ありがとうございます。宿題の適切な量については学習効果を考慮し、今後も継続して検討してまいります。また、長期休暇を含め、宿題の量や内容を学年内で十分に調整し、どのクラスにおいても質の高い学習が提供できるよう教員間で密に連携し、学年全体で学力を高める指導に努めてまいります。

●漢字学習について

○1 学期にたくさんの漢字を習い、苦手意識が強い。字の丁寧さや書き順への意識が疎かになっている。

漢字学習が大変苦手で1年生の頃からスピードについていけない。教科書外の熟語になると、読めず書けない。改善されず4年生になりどこからやり直して良いのかわからない。

●回答)学力向上部より→ 漢字学習へのご不安、お察しいたします。文部科学省の指針では、細かな字体のみで評価するのではなく、漢字の構成や正しく書けているかを重視する方向へ進んでおります。一方で、丁寧に書くことや書き順を意識することは、正確な漢字の習得を助ける大切な要素だと考えております。本校でも、お子様の発達段階や習熟度に応じ、個別の声掛けや丁寧な指導を継続してまいります。ご家庭で感じるお子様の課題について、具体的に担任にご相談ください。お子様の「苦手」に寄り添い、自信を持って学べるよう努めてまいります。

●教育活動の方針について

○一部の活発な子どもたちにスポットが当たり続ける教育活動は果たして正しいのか。教科学習だけでなく、豊かな人間関係をつくる基礎など、子どもたちが主体的に考え、行動できる環境教育が理想だ。

自分の子どもが学年でどのくらいのレベルにいるか分からないので順位が出るテストがあればいい。

●回答) 学力向上部及び情報視聴覚部より→多様な個性が輝く教育活動へのご提言、ありがとうございます。本校でも、一部の児童に限らず、全員が主体的に考え行動できるよう、役割分担やグループ活動の工夫を通じ、豊かな人間関係を育む指導に注力しております。また、学習評価につきましては、他者との比較ではなく、お子様自身が目標に対してどこまで到達したかを測る「絶対評価」を行っております。学期末にお示しする学年平均等の資料もご参照いただき、お子様の歩みと共に見守っていただければ幸いです。

●読書について

○読書時間が少ないので増やしてほしい。図書館の本を充実させてほしい。子どもにオススメの本の紹介をしてほしい。図書室の本で興味の幅が広がってきている。学級文庫は絵本ではなく、漫画で学べる本をもっと増やして欲しい。

●回答) 情報視聴覚部より→読書や図書室のあり方に貴重なご意見をいただきありがとうございます。来年度からは、児童のアンケートをもとに本の購入を行う予定です。より児童の希望や興味・関心に合わせて図書室の本を充実させることができるのでないかと考えています。学級文庫の本は、基本図書室からの除籍本や保護者の方々からの寄贈本で成り立っています。「学級文庫に漫画で学べる本を増やしてほしい」というご意見になるべく添えるよう、いっそその図書室の本の充実を図り、寄贈本の募集でも保護者の方々に周知させていただくなど、実現に近づくよう前向きに取り組んでまいります。

なお、今年度より木曜のオビタイム（朝学習）は読書タイムとして確保しています。担任も一緒に読書に取り組むことで、集中できる環境づくりを行っています。また、「読書ノート」の取り組みも今年度より始めています。読んだ本を記録し、決められた冊数に達すると、朝日新聞またはデジタル版に名前が記載されますので、それをめざして読書量が増えてきています。

●学校の設備、教育環境、衛生等について

○もう少し1クラスの人数を少なくしてほしい。先生の負担が大きいと感じる。先生が休む場合は出来る限り早く代わりを配置してほしい。水曜日は4時間授業で終了だが、6時間授業の日の分を水曜日にもってきて、水曜日を5時間にしてほしい。

●回答) 管理職より→ご心配をおかげし申し訳ありません。全国的な動きとして、教員配置が段階的に1クラス40人から35人設定になりました（全学年）。また、市独自の少人数クラス設定のルールもございます。ただ、教員不足により配置がされないまま現状に至っ

ており、来年度も明るい見通しが持てないことを市教委から聞いています。同様に、休業等の代替教員も配置が難しい状況になっております。教員不足を緩和するため、学校にできる働き方改革を進めてまいります。

水曜日の校時についてのご意見をいただきありがとうございます。来年度について様々な検討をしているところですが、2年生の6時間授業は、その先の学年で6時間授業があることへの「練習」の要素がございます。水曜日については週の折り返しにあたり児童の体力を考えて、引き続き1~3年生については4時間授業としてまいりたいと考えています。お仕事などのご都合があるものと思いますが、なにとぞご理解を賜りますようお願いいたします。

○トイレが汚いとよく聞く。子どもたちは掃除も頑張っているとのこと。先生たちからのご指導、トイレの見回り。子どもたちだけに任せることではなく掃除への関わりを持っていただけたらありがたい。社会的なマナーを厳しく指導してほしい。トイレ用のスリッパを設置し、上履きと履きわけてほしい。市の体育館にあるような上履きのまま履けるスリッパを設置してほしい。上靴と下靴が分かれてないので体育館以外は下靴でよい。男子の立ちトイレが増えたらよい。

●回答) ○管理職回答→ご心配をおかけし申し訳ありません。今年度は、児童と教員の努力により、トイレの衛生の課題（使い方と清掃）が1年を通じて以前より改善しています。また、校内全体の環境向上については、校門監視ボランティア「スマイル」さん、PTA美化委員さん、びか（花壇＆トイレ）ボランティアさん、さらに不定期に個人で協力してくださる方がおられ、花壇の整備や校内の美化・清掃に多大な貢献をされています。引き続き、より良好な環境に近づくようこれらのボランティアの皆様方と手を携えつつ、児童とともに取り組みを進めてまいります。

上履きのまま履けるスリッパについては、現在の乾式トイレ導入時に試しましたが、その使用状況が悪化し、取りやめた経緯がございます。男子の立ちトイレは市教委の判断で少し増やすことができましたが、市の施策の関係からこれ以上の増設工事は当面難しいと考えております。トイレのマナー全般の指導については、引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。

ご指摘の教室でも下履きを使用することについては、雨天時の泥汚れなどの課題もあり、現状のままと考えております。なお、上履きと下履きの場所は、おおむね屋根の有無で区別しております。

●学校の情報の共有・発信について

○授業や学校生活などの子どもの様子について日頃からの情報共有がよりよい教育につながる。他の保護者から知る事や子どもから偶然知る事があるので、情報・状況の共有が大切だ。

頻繁な学級だよりでクラスの様子がわかり満足している。

オンライン配信で授業風景を見れたら良い。

写真などの提示が欲しい。

隠蔽体質を改善して、正確な情報提供をしてほしい。

○回答) 管理職より→保護者の皆様との情報共有不足や、隠蔽体質があるとのご指摘、真摯に受け止めております。個別事情によりやむをえない判断があったかもわかりません。しかし、そのように感じられたことは、大変申し訳なくお詫び申し上げます。管理職まで具体的にお申し出下されば改善してまいりますので、まずはお電話か、学校ブログの「提言・意見フォーム」からお寄せください。

→<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/2710042/weblog/13556953>

授業のオンライン配信について、枚方市の考え方は不登校などの場合に担任と相談の上を行うこととされています。また、写真の提供については、学校ブログなど公開しているもののはかは、担任個々の裁量により行っておりますので、ご理解をお願いします。

○まなびポケットになって以降、連絡の重要度がわかりにくい。未読や重要なメールのソート機能など、学校側から機能充実の要望をしてほしい。学びポケットを学年別に見れるようにして欲しい。

●回答) 管理職より→ご不便をおかけし申し訳ありません。これまで同様のご要望をいただくことがあり、職員の要望と合わせ市教委の担当部署へ改善を依頼しております。今後市教委から機能充実の要望を出すにあたり、保護者からこのようなお声があることを重ねて伝えてまいります。

○個人情報を守るのは悪いことではないが、親が困るので登校班の情報は共有すべきだ。

●回答) 情報視聴覚部より→登校班での安心・安全を確保するため、保護者の皆さまが必要な情報を求められるお気持ちは、学校としても十分に理解しております。しかしながら、児童およびご家庭の個人情報につきましては、学校として適切に保護する義務があり、第三者への共有については慎重に取り扱う必要がございます。そのため、個々のご家庭の情報を学

校から直接提供することがかないません。ご不便をおかけいたしますが、なにとぞご理解のほどお願い申し上げます。

○初めての小学校で、準備物で迷うことがある。学校の細かいルールを詳しく教えてほしい。

●回答) 1年より回答→準備物で迷うことがあるとのこと、説明が分かりにくく申し訳ございません。持ち物については、入学説明会動画や入学のしおりにはおおむねのルールを載せておりますが、わかりにくい点は、連絡帳かお電話で担任まで具体的にお知らせください。丁寧にお答えしてまいります。

○もっと学校での様子がわかる話が聞きたいので懇談の時間が増えると良い。

●回答) 教務より→学校での様子をより共有してほしいとのご要望をいただき、ありがとうございます。本校ではお子様の取り組みや成長、課題をより丁寧に共有するため、懇談時間を従来の10分間から15分間へと拡大いたしました。あわせて事前のアンケートを活用することにより、限られた時間の中でも、より充実したお話ができるよう努めています。今後も一人ひとりの頑張りをしっかりとお伝えし、ご家庭と二人三脚でお子様を支えていけるよう努めてまいります。

●教職員の態度について

○子どもたちが先生に話しやすい環境が望ましい。今まで通り子どもを尊重した教育をお願いする。

担任と担任以外も関わって学習しやすい環境が実現し子どもは楽しくすごしている。学校全体として合理的配慮の理解、提供がより進むことを期待している。

給食の時に先生の特別放送が何回かあり、とても興味深く楽しく聞けたので、継続的にあればよい。

担任の先生がとても素晴らしい、大変満足している。何よりまず子どもの思いや考えに耳を傾け、いけないことをしっかりと指導する。子どもが信頼を寄せている。

●回答) 人権生指推進部より→温かいお言葉をいただき誠にありがとうございます。お子様が日々の学校生活を「楽しくすごしている」とのこと、大変うれしく思っております。また、担任および担任以外の教職員との関わりの中で安心して学習に取り組めることは、学校としても重視している点であり、今後も継続・発展させてまいりますとともに、お子様が先生に話しやすい環境づくりについても、引き続き学校全体で取り組んでまいります。

「子どもを尊重する教育」へのご期待をしっかりと受け止め、日々の指導や関わりの中で、一人ひとりの思いや気持ちに丁寧に向き合ってまいります。

また、給食時の特別放送を楽しみにしていただいていること、大変励みになります。子どもたちの学校生活に役立つよう、そしてそれを楽しめるよう、このような取り組みの継続や新たな工夫も検討してまいります。

合理的配慮についても、学校全体で理解と実践の質をさらに高められるよう、研修や日々の実践を通して取り組んでまいりますとともに、保護者の皆さまとの連携を大切にしながら、お子さまの成長を支えてまいります。

○その学年に合った対応がしっかりとできる先生を担任にしてほしい。声かけや注意の言葉遣いが乱暴な先生がいる。

●回答) 管理職回答→ご心配をおかけし、大変申し訳ございません。管理職まで具体的にお申し出下されば、その教員に指導してまいります。お電話か、学校ブログの「提言・意見フォーム」からお寄せください。→

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/2710042/weblog/13556953>

●不登校について

○不登校の子が学校に対して思うことがあるようだが、なかなか言葉にならない。学校サイドでも、不登校の子たちに何ができるか検討してほしい。

●回答) 人権生指推進部より→貴重なご意見ありがとうございます。お子さまが学校に対して何か感じているにもかかわらずうまく言葉にできないという状況について、学校としても真摯に受け止めております。不登校の児童一人ひとりが抱える思いや背景はさまざまですので、まずはお子様が安心して気持ちを表現できる方法や場について、保護者の皆さまと一緒に探っていきたいと考えております。

また、学校側としても、不登校のお子さまにどのような支援や関わりがより適切なのか、改めて校内で検討を進めてまいります。必要に応じて、個々に応じた学びの場や関わり方についての調整も行ってまいります。今後も、お子さまの気持ちを丁寧に受け止めながら、無理のない形で学校とのつながりを保てるよう、継続して支援に取り組んでまいります。何かお気づきの点やお子さまの変化等がございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。

●いじめ・不適切行動の抑止について

○いじりといじめのボーダーライン、受け止め方の個人差について考える機会を作ってほしい。

●回答) 人権生指推進部より→貴重なご意見をありがとうございます。ご指摘のいじりといじめの受け止め方やその境界については、子ども一人ひとりの感じ方に個人差があり、非常に大切な視点であると受け止めております。

法律では、本人が「つらい」「嫌だ」と感じた行為は、いじりであっても「いじめ」として捉えます。「いじめ」は決して許されない行為であることを、日々の学級指導や教育活動の中で担任を中心に繰り返し指導しております。

また、本校では子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるよう、「いじめ」をはじめとする不適切な行為に関する指導は、「楽しい学校を創るための安心・安全ルール」に基づき行っています。

本ルールは、児童が中心となり本校独自に作成したもので、全教職員が共通の認識と基準をもって指導・対応できるよう整備されています。学級担任だけでなく、どの教員が関わる場面においても、同じ考え方・同じ方針で指導が行える体制を整えています。

子どもたちが互いの気持ちを想像し、相手の立場に立って行動することの大切さについて考える機会を設けながら、いじめの未然防止と早期対応に組織的に取り組んでまいります。

●本アンケートについて

○アンケートは匿名制にした方がよい。

●回答) 管理職より→貴重なご意見ありがとうございます。各種アンケートの回答者は管理職のみ必要な場合に閲覧いたしますが、一般教職員には匿名となっております。貴重なご意見を最大限生かすための措置と考えておりますので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●「応援歌プロジェクト」「たのつく」等について

○歌づくりプロジェクトは自分たちの考えを形にする楽しさや応援してくれる人の温かさに触れとても良い経験だ。児童の企画をサポートし休日にも付き添っている先生方に感謝している。

今年度の「たのつく」を来年度もやってほしい。子どもがチャレンジしたくなるような取り組みを授業や学校で行っていただき感謝している。意欲的に取り組む姿がうれしい。マイスター制度のような、達成感を味わえる経験を多くさせたい。

●回答) 管理職より→感謝や激励のお言葉誠にありがとうございます。とても教職員の励みになります。来年度については、(毎年のことではありますが) 教職員の陣容や外部環境が変化しますので今年度と同様になるかは申せませんが、引き続き子どもたちが温かい地域の方々に触れ、意欲的にチャレンジしたくなる教育に、学校全体で努めてまいります。

●その他の行事・教育活動について

○イベントを無闇に増やさないでほしい。先生方も直前まで旅行に向けての学習や体力管理に努めてくれたのに、配慮のないイベントだと思った。
地域の文化祭などへの協力は、保護者が主体になるべきで授業を割いて説明の時間を設けなくて良い。

●回答) 管理職より→ご心配をおかけし、大変申し訳ございません。管理職まで具体的にお申し出下されば、その教員に指導してまいります。お電話か、学校ブログの「提言・意見フォーム」からお寄せください。→

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/2710042/weblog/13556953>

○あいさつ運動、あいさつ指導をしてほしい。

●回答) 人権生指推進部より→お子様のあいさつについてのご心配のお声と拝察いたしました。学校といたしましても、あいさつは日常生活をよりよくする大切な習慣であると考えており、学級・学年・学校全体で引き続き丁寧に指導してまいります。個別の場面だけでなく、朝の会や帰りの会、授業の始まりなど、日々の学校生活の中で自然にあいさつができるよう、教職員で協力して支援してまいります。

○親子でできる行事が増えたら嬉しい。

●回答) 管理職より→貴重なご意見をありがとうございます。確かに PTA の学年行事を拝見してみましても、特に低学年の子どもたちは保護者の参加を嬉しそうにしていますね。他には、今年度4年の校外学習では子どもたちから保護者に協力要請をかけ、一緒に作り上げることに喜びを感じていたように思います。今後も学校を開き、保護者や地域住民の皆様とともにを行う実り多い教育活動の機会をできる限り増やしていくよう検討してまいります。

○運動会はもう少し早くから練習し一生懸命取り組む姿をみたい。

●回答) 体育部より→運動会練習について貴重なご意見をありがとうございます。練習時期を早めることは、体育科の年間授業時数の定めにより難しい面がございますが、その分「一時間の密度」を徹底して高めてまいります。子どもたちが自ら目標を持ち、一回一回の練習に全力で熱中できるような授業の工夫を凝らします。本番では、短期間でも集中して磨き上げた、一生懸命な最高の姿が見られるよう子どもたちを支援してまいります。

○草抜きを学校行事にし、美化活動や自然観察の入口として扱えばよい。

●回答) 特別活動部より→貴重なご意見ありがとうございます。草抜きを美化活動や自然観察につなげるという視点は、教育的意義のあるものだと感じております。しかしながら、学校行事として行うには指導体制や安全面、年間計画との兼ね合いなど、検討すべき点が多く、現段階では実施が難しい状況です。日常の清掃活動や校内環境整備の中で、必要に応じて草抜きに取り組む場面を設けるとともに、身の回りの環境を大切にする意識が育つよう指導してまいります。

○1年生の学校案内の際、他の教室の中まで入って体験できるとよい。

●回答) 1年より回答→貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、授業の進行に支障がない場合は、できるだけ1年生が早く学校生活のイメージをつけられるよう努めてまいります。

○給食時間をもう少し長くしてほしい。

●回答) 保健・食育部より回答→貴重なご意見ありがとうございます。もう少し長くなるとゆっくり食べることができるかと思いますが、そうなると休み時間を削るか、下校時間を繰り下げざるを得ず、子どもやご家庭の理解が得にくいものと考えます。時間の制約がある中で、給食時間が短くなることがないよう4時間目の授業は延長せず、チャイムで始まりチャイムで終わる授業展開に引き続き努めてまいります。